

きのこ

地域のきのこ資源を発掘して活用する

— 島根の自然に価値を見いだす基礎研究 —

研究の背景・目的

本県の森林をよく探せば、毎日の食卓に並ぶきのこが見つかります。また、一般には知られていない美味しいきのこも生えています。そして、これらは上手く利用すれば栽培品種にすることが出来ます。

当センターでは、これらの野生きのこを貴重な地域資源として捉え、有望種を探索し、品種開発につながるサンプルの収集と、利用技術に関する知見を蓄積します。また、既に開発した品種については、その栽培特性を維持するための管理を行います。

研究の内容

項目① 有用きのこの探索・採取・鑑定・菌株作成

対象：ヒラタケ、ナメコ、マイタケ、キクラゲなど

県民の皆様から野生きのこの鑑定依頼を受け付けて（無料）、効率的に有用きのこを探します。

項目② 利用適性の評価

収集した有用きのこは培養試験を行い、選抜した後、品種候補としてサンプルを保管します。

項目③ 生態調査

きのこ採取地の環境を調査し、栽培条件を決定するための基礎資料とします。

項目④ 開発品種の特性維持

対象：エノキタケ、ブナシメジなど

栽培年数の経過とともに、収量減少や品質低下が生じるため、品種の若返り対策を施します。



研究成果の活用・今後の研究

収集した有用きのこのサンプルは、交配試験などの研究に使用します。これにより、県内きのこ生産者へ提供する品種の開発をめざします。

MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207

担当科 : きのこ・特用林産科

研究担当者 : 富川 康之

問い合わせ先 : 0854-76-3815

E-mail : chusankan@pref.shimane.lg.jp

試験研究課題名 : 有用きのこの選抜と品種育成（研究期間：H28～32）



きのこ

県オリジナルきのこ品種を開発する

— きのこ産地へ新アイテムの提供、地域へ新商品と新事業の提案 —

研究の目的

- ❑ 新規きのこ品種の開発
 - ・ 本県に生息するきのこの利用
 - ・ 品種特性と栽培条件の解明
- ❑ 県独自の生産体制構築
 - ・ 県による品種提供、栽培技術指導
 - ・ きのこ産地、地域と連携した商品開発

研究方法

❑ 手順



❑ 対象きのこ

ヒラタケ、ナメコ、マイタケ、キクラゲなど



貴重な「野生マイタケ」

研究の特徴

- DNA解析結果に基づく
 - ・ 正確な系統選抜
 - ・ 試験のスピードUP

きのこ振興ワーキングチームによる進捗管理
研究+県庁+地方機関

研究の現場移転

- ❑ 県内きのこ産地の生産拡大、生産の新規参入、産地による独自生産を進める
- ❑ 地域特産品開発、産地の有利販売を支援する

MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207

担当科 : きのこ・特用林産科

研究担当者 : 富川 康之

問い合わせ先 : 0854-76-3815

E-mail : chusankan@pref.shimane.lg.jp

試験研究課題名 : 強いきのこ産地を育成するための品種開発 (研究期間 : H30~34)



特用樹

コウゾ、クロモジ、クコの栽培技術を確立する

— 集落営農組織の多業化を支援する —

研究の背景・目的

集落営農組織は農業など地域運営の中核的な担い手となっていますが、米の直接支払交付金廃止により所得の減少が見込まれるため、経営の多角化、多業化による所得確保が必要となっています。

このため、集落営農組織の多業化支援を目的として、需要と収益が見込まれ、米作の繁忙期と生産作業時期が重ならない特用樹3種（コウゾ、クロモジ、クコ）の栽培技術の確立に取り組みます。

研究の内容

○コウゾ

・密植による多収栽培技術の確立

密度と収量の関係解明、除草などの機械作業に適した栽植密度の確認

・簡易な苗木生産技術の確立

挿木法の簡素化、株分法・分根法との組み合わせによる苗木生産の効率化

○クロモジ

・庇陰による栽培技術の確立

成育に適した遮光資材と照度の解明、切り戻し栽培による品質・収量の向上

・優良母樹の選定・育成

○クコ

・病虫害に対応した栽培技術の確立

被害発生要因解明及び防除技術の確立、切り戻し栽培による収量・品質の向上

・優良母樹の選定・育成



コウゾ



クロモジ



クコ

研究成果の活用と今後の研究計画

コウゾ、クロモジ、クコの栽培技術を確立し、得られた知見、調査結果をまとめて栽培の手引き書を作成し、集落営農組織に提供することで、多業化を支援します。

（期待される成果）

- ・ 集落営農組織の**多業化・法人化推進**
- ・ 集落営農組織の雇用の**周年化・所得確保**
- ・ 特用樹を活用した**特産品生産**（クロモジ茶、精油、クコ加工食品等）
- ・ 島根の文化・歴史を象徴する伝統産業である**和紙産業の保護育成**
- ・ **農地の荒廃防止**、未利用ハウス等の有効活用
- ・ **小さな拠点づくり**に向けた地域産業の振興

→ 中山間地域の雇用の確保・集落の維持存続

MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207

担当科 : きのこ・特用林産科

研究担当者 : 大場 寛文

問い合わせ先 : 0854-76-3815

E-mail : chusankan@pref.shimane.lg.jp

試験研究課題名 : 集落営農組織多業化支援のための特用樹の栽培技術開発（研究期間：H30～32）

